

野口博士の遺徳しのぶ

NYの墓前で九十四回忌

米国・ニューヨーク市のウッドローン墓地で二十一日（日本時間二十二日）、猪苗代町出身の細菌学者・野口英世博士の墓参会が開かれ、参列者が遺徳をしのんだ。



野口英世博士の墓地で遺徳をしのんだ関係者
＝米国・ニューヨーク市（加納副代表提供）

墓守り活動を続ける
ニューヨーク野口英世記念会（本間俊一代表）の主催。今回は九

十四回忌。新型コロナウイルス感染拡大の影響が続ぎ、今年も一般に公開しない形態

で実施した。それでも感染対策を講じた上で約三十人が参列した。

本間代表や、ウッドローン墓地代表のジェームス・ガランド氏らがあいさつした。竹田小夜子ニューヨーク福島県人会長（いわき市出身）も参列した。猪苗代町の野口英世記念会の竹田美文理事長からのメッセージが披露された。

加納良雄副代表（水戸市出身）が福島民報社に情報を寄せた。加納副代表は「野口博士の遺徳を後世に伝えていく使命感を強くした」と語った。